

2023年 9月 29日

富山県知事 殿

住 所 高岡市永楽町 5-10
報告者

氏 名 富山県厚生農業協同組合連合会
代表理事 理事長 高木 茂
印

〔法人にあつては、主たる事務所の所在
地、名称並びに代表者の氏名及び印〕

電 話 0766 (21) 3930

地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2第1項の規定に基づき、2022年度の業務に関して報告
します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒933-8555 富山県高岡市永楽町 5番10号
氏名	富山県厚生農業協同組合連合会 代表理事 理事長 高木 茂

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、
「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

富山県厚生農業協同組合連合会高岡病院

3 所在の場所

〒933-8555 富山県高岡市永楽町 5番10号	電話 (0766) 21 - 3930
------------------------------	-----------------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	床	床	床	517床	517床

5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 体外ペースメーカー1台、呼吸循環監視装置8台、多機能生体情報モニター15台、超音波診断装置4台、血液ガス分析装置2台、持続的血液濾過透析装置3台、低体温治療監視システム2台、除細動器2台、人工呼吸器10台、血液透析装置2台、ECMO1台 病床数 20 床 (救命救急病棟8床 集中治療病棟12床)
化学検査室	(主な設備) 生化学分析装置4台、免疫分析装置4台、血液ガス分析装置2台
血液検査室	(主な設備) 多項目自動血球分析装置4台、血液凝固検査装置2台
細菌検査室	(主な設備) 血液培養検査2台、顕微鏡2台 全自動細菌同定培養装置1台、PCR装置4台
病理検査室	(主な設備) 自動免疫染色装置1台、顕微鏡11台、プレパラート自動封入装置1台、自動染色装置2台
病理解剖室	(主な設備) 剖検台1台、臓器撮影台1台、遺体冷蔵庫1台
研究室	(主な設備) 電子カルテシステム、MRI、CT
講義室	室数 1 室 収容定員 200 人
図書室	室数 1 室 蔵書数 413 冊 (他電子書籍、クリニカルキー)
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 保有台数 1 台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 46.30 m ² [共用室の場合] 室と共用

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

6 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績
 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院紹介率	72.8%	算定 期間	2022年 4月 1日 ～ 2023年 3月 31日
地域医療支援病院逆紹介率	102.4%		
算出根拠	A：紹介患者の数	9,589人	
	B：初診患者の数	13,173人	
	C：逆紹介患者の数	13,495人	

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

7 共同利用の実績

(1) 共同利用の実績

(1) 共同利用医療機関延べ数	92 施設
(2) 開設者と直接関係のない共同利用医療機関延べ数	92 施設
(3) 共同利用に係る病床利用率 (2022年4月～2023年3月)	13.1 %

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

(2) 共同利用の範囲等

開放型病床、医療機器、電子カルテ、地域医療連携室、会議室、図書室、医薬品情報管理室、生化学検査室、血液検査室、細菌検査室、病理検査室、病理解剖室、講義室、集中治療室、救急車等

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用を行ったものを明記すること。

(3) 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規程の有無 ・無

イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名：

職 種：社会福祉士

(注) 共同利用に関する規程がある場合には、当該規程の写しを添付すること。

(4) 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙の通り				

(注) 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	10床
--------------	-----

8 救急医療の提供の実績

(1) 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考	
1	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
2	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
3	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
4	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
5	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
6	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
7	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
8	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
9	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
10	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
11	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
12	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
13	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
14	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
15	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
16	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
17	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	

18	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
19	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
20	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
21	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
22	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
23	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
24	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
25	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
26	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
27	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
28	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
29	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
30	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
31	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
32	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
33	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~17:00	
34	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~15:30	育児短時間勤務
35	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~15:30	育児短時間勤務

(2) 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	10 床
専用病床	20 床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

(3) 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24 時間使用の可否
救命救急センター (1) 診察室 1	8.12 m ²	(主な設備) 電子カルテ端末、画像情報モニター、診察台、陰圧設備 他	可
救命救急センター (2) 隔離待合 隔離用トイレ	15.59 m ²	(主な設備) ウォシュレットトイレ等	可
救命救急センター (3) 診察室 2～4	32.4 m ²	(主な設備) 電子カルテ端末、画像情報モニター、診察台、シャーカステン 他	可
救命救急センター (4) 処置室 1～4 観察室 手術室 小手術室	278.95 m ²	(主な設備) 電子カルテ端末、无影灯、全身麻酔器、人工呼吸器、OP 台型ストレッチャー、ストレッチャー、レントゲンイメージ、メディカルシンク、体外循環補助装置、除細動装置、心電図モニター 他	可
救命救急センター (5) 産婦人科診察室	13.88 m ²	(主な設備) 診察台、婦人科エコー 他	可
救命救急センター (6) 検査コーナー	15.60 m ²	(主な設備) 眼底検査オートデスク 生化学分析装置、血液ガス分析装置、 血球計数装置	可
救命救急センター (7) 器材庫・物品 庫・SPD	17.48 m ²	(主な設備) シェルビング、医療器材、 SPD 他	可
救命救急センター (8) 受付	8.12 m ²	(主な設備) 電子カルテ端末、医事システム 端末、プリンター、ネームバンド作製機 他	可
計	390.14 m ²		

その他	102.67 m ²	(主な設備) 医師控室、看護師控室、家族控室、カンファレンス室、風除・除泥室、職員用トイレ、患者用トイレ 等	可
-----	--------------------------	--	---

(4) 備考

救命救急センター (平成9年4月1日指定)

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。

既に、救急病院等を定める省令 (昭和39年厚生省令第8号) に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について (昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知) に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記載すること。

(5) 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	3,509 人 (1,816人)
上記以外の救急患者の数	6,846 人 (1,198人)
合計	10,355 人 (3,014人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

(6) 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1 台
---------------	-----

9 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

(1) 研修の内容

別紙の通り

(2) 研修の実績

ア 地域の医療従事者への実施回数	30 回
イ アの合計研修者数	911 人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 イには、前年度の研修生の実数を記入すること。

(3) 研修の体制

ア 研修プログラムの有無 ・無

イ 研修委員会設置の有無 ・無

ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
	医師	消化器内科	院長	39年	
	医師	救急科	診療部長	31年	教育責任者
	医師	腫瘍内科	副院長	35年	
	医師	外科	診療部長	29年	
	医師	歯科口腔外科	診療部長	34年	
	看護師	看護部	副看護部長	34年	教育責任者
	看護師	地域医療連携室	部長待遇	32年	
	看護師	訪問看護ステーション	看護師長	33年	
	薬剤師	薬剤部	薬剤部長	35年	
	社会福祉士	地域医療連携室	課長	28年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

(4) 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
講堂	252.4 m ²	(主な設備) 放送設備、電子カルテネットワーク、スクリーン、プロジェクター、机、椅子
地域医療研修センター	55.54 m ²	(主な設備) 電子カルテネットワーク、机、椅子
会議室 1	50.86 m ²	(主な設備) 放送設備、机、椅子、電子カルテネットワーク
会議室 2	43.57 m ²	(主な設備) 机、椅子、電子カルテネットワーク

10 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者氏名	副院長
管理担当者氏名	医療情報部 部長代理

		保管場所	分類方法
	診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約	電子カルテ 医療情報部病歴室	1患者1カルテ (従来の紙カルテも同様)
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室	
	救急医療の提供の実績	総務課、医事課	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域医療連携室	
	閲覧実績	医療情報部	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	医療情報部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

11 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者氏名	地域医療連携室 室長
閲覧担当者氏名	地域医療連携室 課長
閲覧の求めに応じる場所	地域医療連携室
<p>閲覧の手続の概要</p> <p>「開放型病床登録医」または「共同利用登録制度」に登録した者が診療並びに共同利用の実績等の病院管理及び運営に関する諸記録の閲覧を求めた場合、申請書を提出し地域医療連携室室長の決済を経て地域医療連携室にて諸記録を閲覧することができる。</p> <p>また「れんけいネット」システムでも診療記録等の閲覧に対応している。れんけいネット参加医療機関は、「カルテ参照同意書」を提出の上、「れんけいネット運用管理規程」及び「れんけいネット利用者マニュアル」に沿ってカルテ閲覧が可能となる。</p>	

前年度の総閲覧件数		4 2 3 件
閲覧者別	医師	4 2 3 件
	歯科医師	0 件
	地方公共団体	0 件
	その他	0 件

12 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	4 回	集合開催3回 書面開催1回（新型コロナウイルス感染症予防対策のため）
委員会における議論の概要		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域医療支援病院としての取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> (1) 紹介率、逆紹介率について (2) 地域医療従事者に対する研修について 研修計画、実績に関する報告 (3) 共同利用について 開放型病床の利用率向上に関する検討 れんけいネット利用状況の報告 (4) 救急患者の受入れ体制について 救急搬送患者数報告 ・ ワクチン接種も含めた医療圏内における新型コロナウイルス感染症の対応、対策について ・ 医療圏内での特定の診療科での医師不足に関する問題点等について意見交換 		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

13 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・その他（ ）
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	看護師 6 名、社会福祉士 7 名、 医療メディエーター 1 名
患者相談件数	6, 0 4 5 件
患者相談の概要	
<p>(1) 患者相談概要 別紙の通り</p> <p>(2) 相談に基づき講じた対策</p> <p>①患者からの要望、意見に対してより適切な対応を行うため、医療相談室に医療メディエーターを配置している。</p> <p>②医療相談室にて週 1 回、多職種（医師、看護師、医療技術職、社会福祉士、医療メディエーター等）でのカンファレンスを開催。それぞれのケースごとに対応策を協議し、毎月の医療安全推進部会にて報告を行っている。</p> <p>③地域医療連携室では専従の看護師、社会福祉士を配置し、患者・家族への退院支援の他、医療、介護、福祉等に関する相談業務を行っている。また地域の医療機関や介護保険関連施設等からの相談にも応じている。</p>	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が特定されないよう配慮すること。

14 その他の地域医療支援病院に求められる取組み（任意の報告事項）

(1) 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無	①・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構 2020年9月	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

(2) 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	①・無
・情報発信の方法、内容等の概要 ホームページの更新や当院機関誌「れんけい」の発行を通じて当院の機能、役割等を周知している。「れんけい」誌は地域の医療機関や訪問看護ステーション、介護保険関連施設等へ年4回、毎回350部ほど発行している。また毎年地域の医療機関へ「診療案内」を配布し当院の診療体制や診療科の特色、取り組み等を発信し地域医療連携の推進に努めている。	

(3) 退院調整部門

退院調整部門の有無	①・無
・退院調整部門の概要 地域医療連携室に専従看護師、社会福祉士と各病棟担当の入退院支援専任職員（看護師、社会福祉士）を配置し患者・家族等からの相談に対応している。入院早期より院内多職種でのカンファレンスを実施し患者・家族の意向を確認しながら地域の医療機関や介護保険関連施設とも連携し支援を行っている。	

(4) 地域連携を促進するための取組み

地域連携クリニカルパスの策定	①・無
・策定した地域連携クリニカルパスの種類・内容 脳卒中、大腿骨頸部転子部骨折、5大がん（胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、肝がん）	
・地域連携クリニカルパスを普及させるための取組み 脳卒中、大腿骨骨折の地域連携パスに関しては、関連医療機関、介護老人保健施設、厚生センターとの「地域連携パス連絡会」を年3回開催。実績報告や運用上の問題点等を協議し、病院と地域との連携体制の強化を図っている。	

備考 記名押印に代えて、報告者（法人にあっては、その代表者）が自署することができます。